

【樹木・草花の部屋】

アオギリ（アオイ科アオギリ属 *Firmiana simplex*）

和名; アオギリ（青桐、梧桐） **別名**; ソウゴ（蒼梧）、ヘキゴ（碧梧） **英名**; Chinese parasol tree, Phoenix tree アオイ目 落葉高木
原産地; 東南アジア **花言葉**; 秘めた意志 **花の色**; 黄白色



← 写真－1 アオギリの樹形

撮影日：2013年5月26日

撮影場所：上牧町ペガサスホールにて

撮影者：Tさん

上牧町立図書館を訪れたときに、ペガサスホール駐車場で雑草の中に立っています。以前冬に見かけたときは、枝だけで枯れたのかなあと感じていましたが、元気でうれしかったことを思い出します。西大和アピタが開店のおかげ？で根元の雑草もきれいになりました。（写真4参照）

写真－2 アオギリの枝葉



撮影日：2013年5月26日

撮影場所：上牧町ペガサスホールにて

撮影者：Tさん



剪定にも強く街路樹や公園樹としてよく植えられています。幹が緑色なので見分けやすい。生長が早く、大きな葉が涼しい木陰をつくる。樹皮が緑色で、葉が桐に似ているので”青桐”。きれいな幹でなめらかなのが特徴です。

写真－3 アオギリの葉



撮影日：2013年5月26日

採取場所：上牧町ペガサスホールにて

提供者：Tさん



【樹木・草花の部屋】

写真－4 アオギリ ⇒

撮影日：2013年10月29日

採取場所：上牧町ペガサスホールにて

提供者：Tさん

きれいに手入れされましたが、樹勢が心配です。手当が要るようです。足元の看板にはこうありました。「被爆アオギリ 2世」「平成16年7月ペガサス平和祈念資料展（原爆資料展）の開催に合わせ広島より寄贈され恒久平和を願い、ここに植樹しました。」とあります。「アオギリよ、元気だして」と願います。どなたか何とかできませんか？



<ちょっと一言>

夏になれば幅広の大きな葉が庭に格好の木陰を作り、冬になればその葉も枯れ落ちます。季節の移り変わりを感じせせる自然があります。小枝は緑色で毛がなく、葉には三から五つの裂け目が入っています。

整枝剪定は落葉してから

枝や根はサクラと同様切り口がふさがりにくいですが、それ以上に樹勢と萌芽力が非常に強いことから強い切りつめを行っても大丈夫です。自然のままに放っておくと庭木としては大きくなりすぎますので、毎年落葉期に整枝剪定を行います。枝は、植えてある場所の広さに応じて切り込めばいいですが、狭い場所では枝の付け根から切ってしまうても大丈夫です。

実生でも簡単に殖やせます。

ふつう、実生で殖やせます。10月頃サヤ付きの種子が落ちてきます。船形をしたサヤの縁に3－5個の大豆大の種子がついていますから、これを採って乾燥しないうちに播きます。土は庭土でいいですが、種子の上に1～2センチほど土を被せておきます。5年もすると立派な木に生育します。移植や植え付けの時には根を少し乾かすくらいがよく、水を使わないことがコツです。

材は、建具、タンス、茶器、箱、下駄、箸、楽器、パルプとし、樹皮の繊維は麻の代用としました。世界で最も軽いと思われるバルサは、この科に近いバルサ科のもので、メキシコ南部からペルーにわたって分布します。

花は雌雄同株。学名の **simplex** は単一の意味。

枝先に大きい円錐花序を出し、黄緑色の小さな花を多数つける。ひとつの花序に雌花と雄花がまじる。花期が長く、開花したものとつぼみがまじる。花卉のようにみえるのは萼片で、花卉はありません。